

YAMAHA

EL-20専用ヤマハミュージック ディスクレコーダー

MDR-4

**Yamaha
Music
Disk
Recorder**

取扱説明書

はじめに

このたびは、ヤマハ ミュージック ディスク レコーダー MDR-4をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。MDR-4は、エレクトーン専用の周辺機器として開発されたMIDI対応の録音／再生装置です。レジストレーションのデータを記録したり、演奏を録音、再生することができます。エレクトーン演奏の楽しみ方をさらに広げてください。

MDR-4を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。

また、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、本書は大切に保管いただきますようお願いいたします。

MDR-4の付属品

- MIDI接続ケーブル(2本)
- 2DDフロッピーディスク(1枚)
- PA-3L電源アダプター
- BRT-3ブラケット(取り付け金具)
 - スパーサー(4個)
 - ネジ(長:4本、短:2本)
 - 電源アダプターコード固定用クランプ(2個)
- 取扱説明書

MDRドライブユニットのヘッドのクリーニングについて

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷ついたりします。市販のクリーニングディスクで、定期的に磁気ヘッドのクリーニングを行うよう心がけてください。

ご使用上の注意 (I)



必ず、AC100Vのコンセントから電源を大型クーラーやセントラルヒーティングの電圧は、AC(交流)200Vのものがあります。誤って接続すると大変危険ですので、充分ご注意ください。



電源プラグの扱いに注意
ぬれた手で電源プラグにふれると、感電するおそれがありますので、充分ご注意ください。また、コードの断線やショートを防ぐため、電源コードをコンセントから抜くときは、電源プラグ自体を持って抜いてください。



MDR内部には、絶対ふれないで。MDRの改造や部品の取りはずしは、大変危険ですので、絶対におやめください。故障だと思われる場合はサービスセンターまでご連絡ください。



内部に水が入った場合は
誤って水などをかけ、MDRの内部に入ってしまった場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた上でサービスセンターまでご連絡ください。



電源スイッチを切り忘れないように
電源が入ったまま長時間放置すると、思わぬ故障の原因になることがありますので、使用後は必ず電源スイッチを切ってください。



重いものをのせないで
MDRの上に重いものをのせないでください。

ご使用上の注意 (II)

設置場所について

- 直射日光はさけてください。
- 暖房器具の近くには設置しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所や、温度の特に低い場所もさけてください。

外装のお手入れは

- 外装のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤は、外装をいためますので、絶対に使用しないでください。また、化学ぞうきんなどもさけてください。
- 外装の塗装は、ビニール製品と化学反応を起こすことがありますので、ビニール製のカバーなどはご使用にならないでください。

電源コードを大切に

- エレクトーン本体や椅子などで電源コードを踏みつけたり、足に引っ掛けたりしないように注意してください。

- コンセントから抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。
- 電源コードの継ぎ足しは、危険ですからさけてください。無理な力を加えないでください。
- ボタン、スイッチ類に無理な力を加えることはさけてください。
- キズをつけないように取り扱いに注意してください。

落雷に対する注意

落雷などのおそれがある場合は、早めに電源コードをコンセントから抜いてください。

万一異常があったら

使用中に音が出なくなったり、異常なおいや煙が出た場合は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、お求めの販売店もしくはサービスセンターまでご連絡ください。

フロッピーディスクについて

■録音/再生中やディスク挿入口左下のユーズランプが点灯中は、絶対にエレクトーンの電源を切ったり、MDRのイジェクトボタンを押したりしないでください。故障の原因となったり、データが消滅する場合があります。

■フロッピーディスクを入れたまま、電源を切らないでください。

■フロッピーディスクを、ディスク挿入口から取り出すときのご注意

- ディスク挿入口左下のユーズランプが消えたことを確認した後、イジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出たことを確認してから取り出してください。
- イジェクトボタンを中途半端に押ししたり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中でひっかかり取り出せなくなる場合があります。この時、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、MDRが故障したりする原因になります。
- イジェクトボタンが中途半端な状態になったり、フロッピーディスクが完全に出ない場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、再度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

■フロッピーディスクの取り扱いと保管について

フロッピーディスクの中には情報を記録する磁性体が入っていますので、取り扱いには充分ご注意ください。

- 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ディスクのシャッター(金属部)を開けたり、磁性体に触れないでください。
- 落したり、物をのせたり、圧力を加えたり、折り曲げたりしないでください。
- ディスク内部に、水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。
- 保管する際は、直射日光の当る場所や、高温または低温の場所に置かないでください。
- 必ず専用のケースに入れて保管し、持ち運ぶ際も市販の専用のケースに入れてください。まれに、衣類などの静電気によって、データが消滅してしまう場合があります。
- シャッターが変形しているようなディスクは使用しないでください。MDRの故障の原因となったり、フロッピーディスクが取り出せなくなる場合があります。
- フロッピーディスクの万一のトラブルに備えて、自分で創った重要なデータは、バックアップとして、予備のディスクにも保存しておくことをお勧めします。

データの互換性についてのご注意

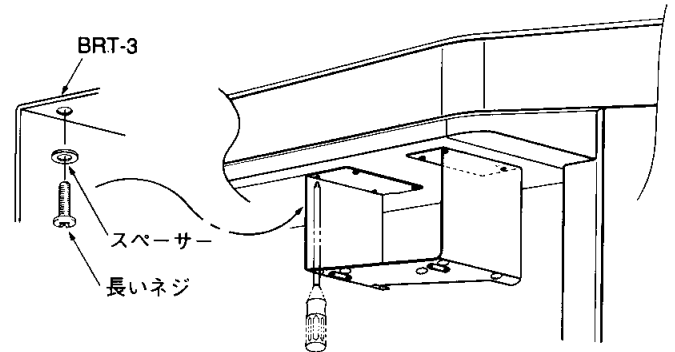
- MDR-4を使って作成したEL-20のデータを、EL-50などの上位機種で再生することができます。
- EL-50などの上位機種でつくったデータを、MDR-4を使ってEL-20で再生すると、上位機種のデータが正しく再生されない場合があります。(EL-20が上位機種に比べて、ボイスやリズム数が少なく機能も少ないためです。)
- MDR-4をEL-20に取り付けた場合、EL-50など上位機種用の別売ディスクのデータは読み込めません。
- MDR-4をEL-30に取り付けた場合、EL-50/30用の別売ディスクのデータは読み込めません。EL-30には専用オプションのMDR-10をご利用ください。
- MDR-3Pのデータは、MDR-4、MDR-10およびEL-90、EL-70、EL-50本体内蔵のMDRのデータとは、互換性がありません。MDR-3PをEL-20に接続した場合、EL-90、EL-70、EL-50本体内蔵のMDRに、レジストレーションデータを移すことはできません。
- MDR-3PとEL-90、EL-70、EL-50、EL-30、EL-20との間でデータをやりとりさせるときは、EL-90、EL-70、EL-50、EL-30、EL-20にMDR-3Pを接続してデータをやりとりさせてください。
- EL-20用のボイスディスクなどの別売ディスクはMDR-3Pでは使用できません。

MDR-4とエレクトーンとの接続

MDR-4とエレクトーンとの接続は、必ずMDR-4とエレクトーンとの電源を切った上で行なってください。また、MDR-4には必ず付属のPA-3L(またはPA-4)電源アダプターをご使用ください。PA-3L(またはPA-4)以外のアダプターを使用すると危険です。

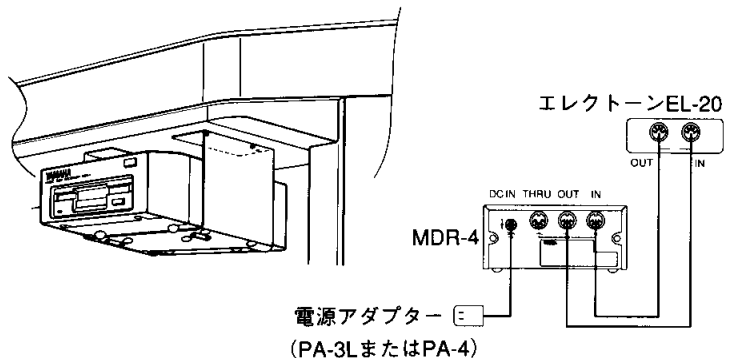
1 エレクトーンEL-20にブラケット(BRT-3)を取り付ける。

まず、エレクトーンの下鍵盤の裏のブラケット取り付け用ネジ穴に、ブラケット上部の丸い穴を合わせます。プラス(+)
ドライバーを使い、スペーサーをはめ込んだ4本の長いネジでしっかりと固定します。



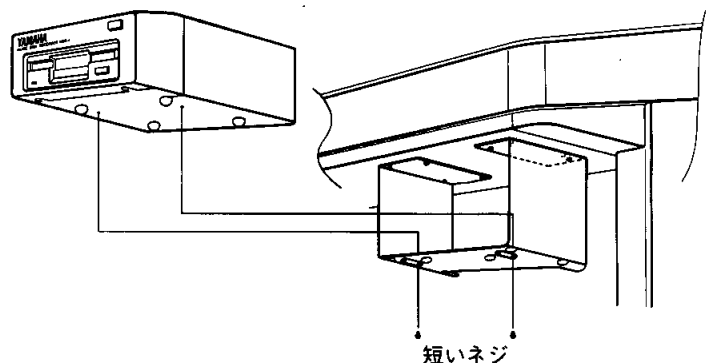
2 エレクトーンとMDR-4を接続する。

つぎに、(ブラケットとMDR-4を固定する前に)ブラケットにMDR-4を一時的に乗せたまま、右図のようにエレクトーンとMDR-4を2本のMIDIケーブルで接続し、電源アダプターのプラグをMDR-4に接続します。



3 ブラケットにMDR-4を取り付ける。

MDR-4を2本の短いネジでブラケットにしっかりと固定します。最後に電源アダプターのプラグをコンセント(必ずAC100V)に差し込みます。(必要に応じて付属の電源アダプターコード固定用クランプを使って、電源アダプターコードをきれいに整理しましょう。)



ご注意

- 取り付け、取りはずし、接続は、MDR-4とエレクトーンとの電源を切った上で行なってください。
- MDRを移動するときは、電源コードやMIDIケーブルを抜いてください。
- 電源コードやMIDIケーブルを端子から抜くときは、必ずプラグ自体を持って抜いてください。
- 電源アダプターは、必ず付属の電源アダプターPA-3L(またはPA-4)をご使用ください。
- 長期間ご使用にならない時は、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

もくじ

MDR-4各部の名称.....	2
1. MDRのご使用の前に.....	3
2. ディスクをフォーマットする.....	4
3. 録音する.....	5
4. レジストレーションなどのデータだけを記録する.....	10
5. レジストレーションなどのデータを呼び出す.....	11
6. レジストレーションだけを入れ替える.....	11
7. 再生する.....	12
8. その他の機能.....	15
[1] カスタムプレイ.....	15
[2] ポーズ（一時停止）.....	15
[3] 早送り／巻戻し.....	15
[4] 再生テンポの変更.....	16
[5] ソングコピー.....	17
[6] ソングデリート.....	18
[7] メモリー残量の確認.....	18
[8] コピープロテクト.....	19
デジタル ディスプレイ上のメッセージ.....	19
こんなときは（故障だとお考えになる前に）.....	20
MDR-4仕様.....	20

1. MDRのご使用の前に

2. ディスクをフォーマットする

3. 録音する

4. レジストレーションなどのデータだけを記録する

5. レジストレーションなどのデータを呼び出す

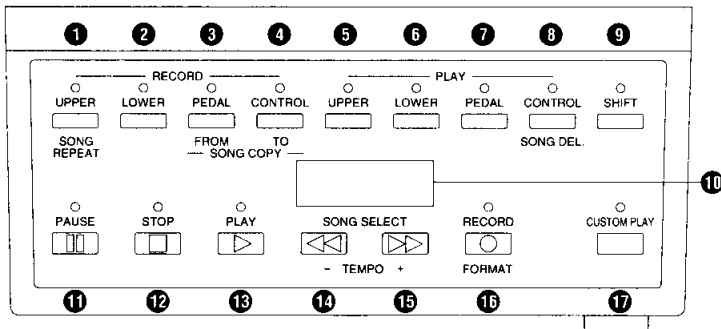
6. レジストレーションだけを入れ替える

7. 再生する

8. その他の機能

MDR-4各部の名称

トップパネル



トップパネル

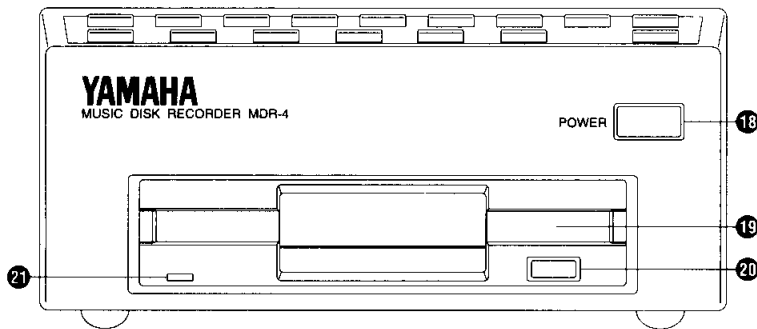
RECORD (録音) セクション

- ① UPPER/SONG REPEAT
(アッパー/ソング リピート) ボタン
- ② LOWER (ロワー) ボタン
- ③ PEDAL/SONG COPY FROM/K.PERC. (ペダル/
ソング コピー フロム/キーボード パーカッション) ボタン
- ④ CONTROL/SONG COPY TO
(コントロール/ソング コピー トゥー) ボタン

PLAY (再生) セクション

- ⑤ UPPER (アッパー) ボタン
- ⑥ LOWER (ロワー) ボタン
- ⑦ PEDAL/K.PERC.
(ペダル/キーボード パーカッション) ボタン
- ⑧ CONTROL/SONG DEL.
(コントロール/ソング デリット) ボタン

フロントパネル

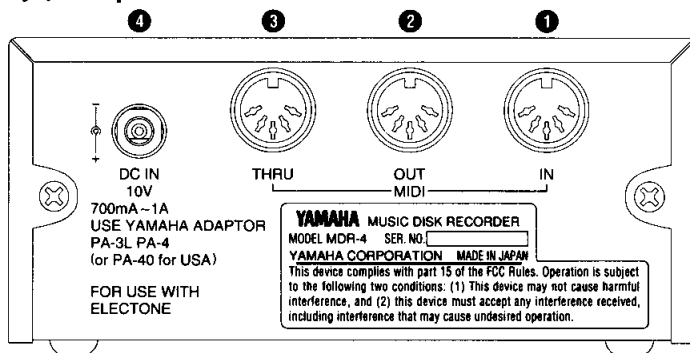


- ⑨ SHIFT (シフト) ボタン
- ⑩ デジタル ディスプレイ
- ⑪ PAUSE (ポーズ) ボタン
- ⑫ STOP (ストップ) ボタン
- ⑬ PLAY (プレイ) ボタン
- ⑭ SONG SELECT/◀◀/TEMPO-
(ソング セレクト/巻戻し/テンポ-) ボタン
- ⑮ SONG SELECT/▶▶/TEMPO+
(ソング セレクト/早送り/テンポ+) ボタン
- ⑯ RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタン
- ⑰ CUSTOM PLAY (カスタム プレイ) ボタン

フロントパネル

- ⑱ POWER (パワー) スイッチ
- ⑲ フロッピーディスク挿入口
- ⑳ イジェクトボタン
- ㉑ ユーズランプ

リアパネル



リアパネル

- ① MIDI IN
- ② MIDI OUT
- ③ MIDI THRU
- ④ DC IN

MDR-4ミュージック ディスクレコーダー(MDR)

ミュージック ディスクレコーダー (MDR) は、演奏データを録音/再生するだけでなく、ボイスデータなどを含めたレジストレーション データを保存したり呼び出したりすることができます。

1. MDRのご使用の前に

MDRは、エレクトーンでつくったさまざまなデータをフロッピーディスクに記録します。(データの入っていないディスク[未フォーマット]が1枚同梱されています。)

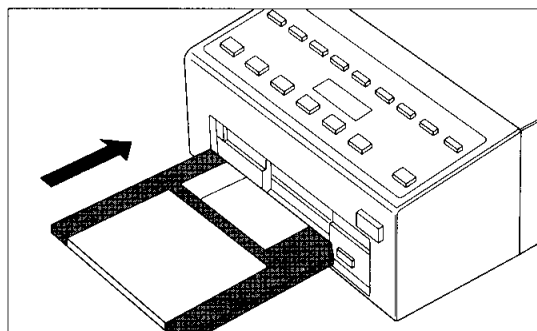
MDRのPOWER (パワー) スイッチを押してオンにします。



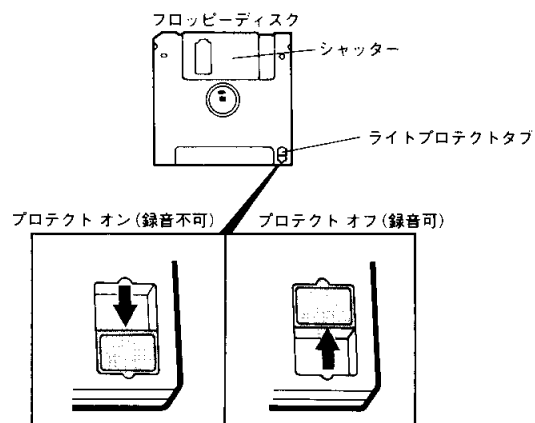
ディスクをMDRに挿入する

フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、MDR正面のディスク挿入口にカチッと音がするまで差し込みます。

正しく挿入された場合、ディスク挿入口左下のユーズランプが一時的に点灯します。



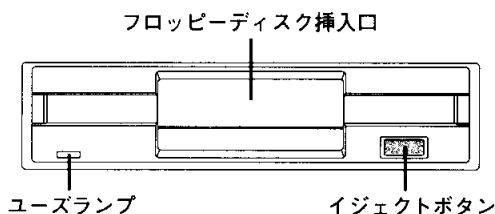
Note: 3.5 インチの2 DDまたは2 HDディスクが使用できます。
(ヤマハYFD-2DD/2HDをお薦めします。)



Note: ご使用の前に、ディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。また、このタブをオンにしておくと、データを誤って消去することを防ぐことができます。

ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、ユーズランプが消えていることを確認した上で、ディスク挿入口の右下のイジェクト(取り出し)ボタンを、正確にしっかりと押して下さい。



フロッピーディスクを、ディスク挿入口から取り出すときのご注意

- イジェクトボタンを中途半端に押したり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中でひっかかり取り出せなくなる場合があります。この時、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、MDRが故障したりする原因になります。
- イジェクトボタンが中途半端な状態になったり、フロッピーディスクが完全に出ない場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、再度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

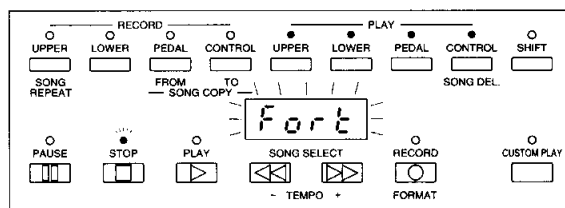
- 録音中や再生中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスク内容が壊れるだけでなく、MDRの故障の原因になります。
- フロッピーディスクを入れたまま、電源を切らないでください。フロッピーディスクは、電源を切る前に、必ず取り出すようにしてください。
- フロッピーディスクの万一のトラブルに備えて、自分で創った重要なデータは、バックアップとして、予備のディスクにも保存しておくことをお勧めします。
(フロッピーディスクの取り扱いについては、前述の『ご使用上の注意』のつぎの『フロッピーディスクについて』をご参照ください。)

2. ディスクをフォーマットする

ディスクを使用するためには、最初にディスクをフォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットとは、ディスクをMDRの書式に合わせる作業です。

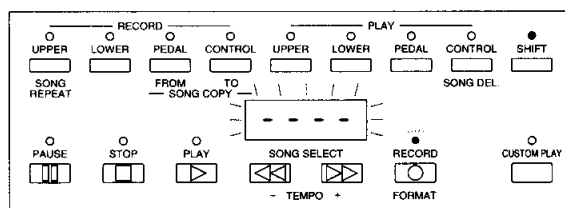
ディスクをフォーマットする

- 1 ディスクの表側を上にして、MDRのディスク挿入口にしっかりと挿入します。



- 2 SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、FORMAT (フォーマット) ボタンを押します。

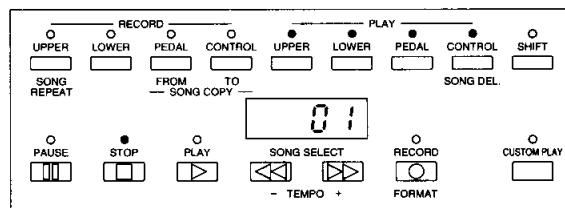
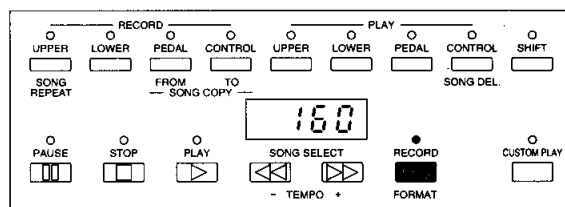
これで、MDR中央部のデジタルディスプレイ上に小さなバー表示が現れ点滅を始め、FORMATボタンの真上のランプも点滅し、フォーマットがスタンバイの状態になりました。



Note: フォーマットを取り消したい場合は、STOP (ストップ) ボタンを押してください。

- 3 もう一度FORMATボタンを押すと、フォーマットが開始されます。

MDRのデジタルディスプレイには数字の160が表示され、その数字から001まで減少していきます。フォーマットが完了したら、MDRはストップの状態に戻ります。



SHIFT (シフト) ボタンについて

MDRパネルのそれぞれのボタンの真上に表示されている機能(白文字)を選択する場合は、単に該当するボタンを押すだけですが、ボタンの真下に表示されている機能(緑文字)や表示の無い機能を選択する場合には、シフトボタンを押しながら、その該当するボタンを押します。

3. 録音する

[1] 録音する

1 まずエレクトーンでレジストレーションメモリーの設定など、録音したい曲の演奏の準備をします。

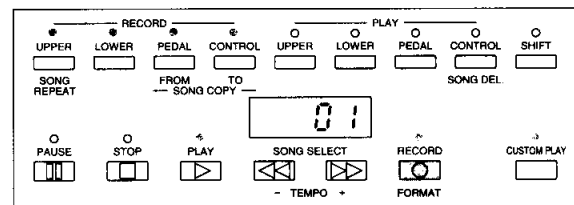
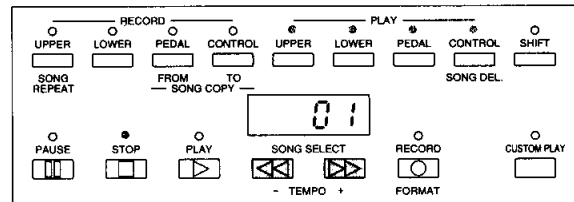
2 フォーマットされたディスクを、ディスク挿入口に挿入します。

3 録音したいソングナンバーを、SONG SELECT (ソングセレクト) ボタン◀◀、▶▶を使って選択します。
ディスクが挿入された状態では、ソングナンバーは自動的に01が選択されます。
SONG SELECTボタンを押して、データの入っていないソングナンバーを選択してください。

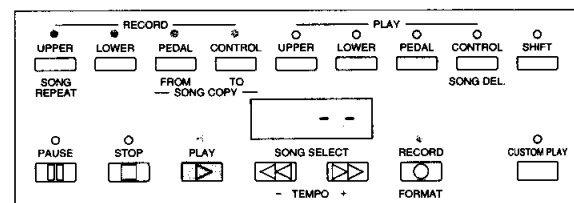
4 RECORD (レコード) ボタンを押します。
RECORDボタンの上のランプが点灯し、PLAY (プレイ) ボタンの上のランプと、CUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ボタンの上のランプが点滅を始め、MDRが録音スタンバイになったことを示します。

5 PLAY (プレイ) ボタンを押します。
PLAYボタンの上のランプが点灯し、MDRのデジタルディスプレイ上を小さなバーが左から右に走ります。これは、エレクトーンに設定されたレジストレーションなどのデータの読み込みをしていることを表します。

Note: 最高で40ソングまで使用できるようになりますが、演奏データは使用するメモリーの量が多いので、1枚のディスクに録音できる曲数は実際にはもっと少なくなります。(メモリーの残量については、18ページをご参照ください。)

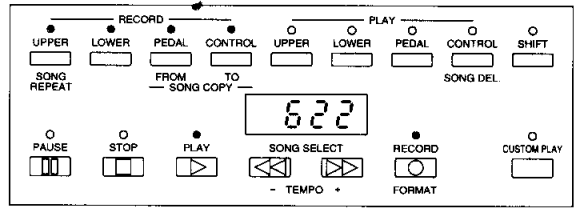


Note: すでに、該当するソングナンバーにデータが録音されている場合は、中央のデジタルディスプレイのソングナンバーの左側に2本の小さなバー(- -)が表示され、デジタルディスプレイとレコードランプが点滅を始め、このソングナンバーにはデータが入っていることを知らせます。そのまま録音を実行したい場合は、もう一度レコードボタンを押すと4のスタンバイの状態になります。キャンセルしたい場合は、ストップボタンを押します。



6 デジタルディスプレイに数字が表示されたのを確認してから、演奏を開始してください。

小さなバーの表示が終わったら、エレクトーンがデータの読み込みを終了したことを意味し、数字が表示されたら、演奏可能な状態になったことを意味します。この数字は、ディスクのメモリーの残量を表しています。

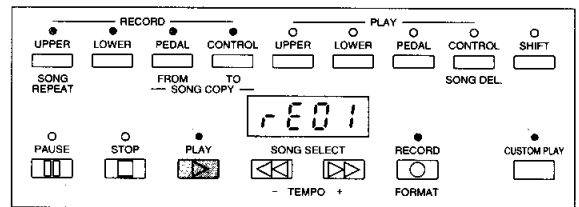


Note: 数字表示後の演奏前のわずかな時間の経過も記録され、再生時に反映されます。

もしレコーディング中にミスをした場合

(1)レコーディングの状態のままで、PLAYボタンを押します。

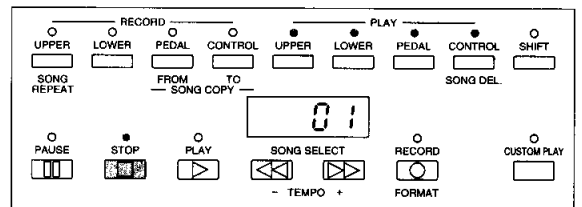
これで録音が中止され、曲の頭に戻ることができます。デジタルディスプレイの左側に「rE」(RETRY:リトライ[再試行])の文字が表示され、PLAYボタンとCUSTOM PLAYボタンの上のランプが点滅を始め、再度録音が可能になったことを知らせます。



(2)もう一度PLAYボタンを押すことで、再度録音を開始できます。

前もって録音された演奏データは、すべて新しい演奏データに置き変わります。

7 演奏が終わったら、STOP(ストップ)ボタンを押します。MDRはストップの状態に戻ります。



Note: デジタルディスプレイのメモリー残量が"008"またはそれ以下になったら、数字は点滅を始め、残量が0に近くなったことを知らせます。

8 PLAYボタンを押すだけで、録音した演奏を聞くことができます。

再生を開始するまでには、レジストレーションなどの呼び出しのため1~2秒かかります。(再生については、12ページをご参照ください。)

Note: 録音/再生中は、絶対に電源を切ったり、イジェクトボタンを押したりしないでください。またMDRの電源を切る際には、あらかじめフロッピーディスクを取り出しておいてください。故障の原因となります。

MDRの概要

MDRは通常のテープレコーダーと同じように操作がシンプルで簡単ですが、内容的にはテープレコーダーよりもはるかに優れています。MDRは、演奏データだけではなくパネル面のレジストレーションデータや音量の加減などのデータを、デジタル信号として記録するもので、大きく分けて以下の3種類に分類できます。

1) レジストレーションデータ

パネル上のレジストレーションだけでなく、前もってレジストレーションメモリーボタンに記録されているデータも、演奏データを録音する前に記録されます。

2) 演奏データ

演奏データを、フォルティシモからピアノシモまで、演奏の微妙な変化も逃さず録音します。アップパー（上鍵盤）、ロワー（下鍵盤）、ペダルをそれぞれ別々に記録しますので、ほかのパートに影響を与えることなく変更できます。

3) コントロールデータ

演奏中のエレクトーン上の設定変更をすべて記録します。レジストレーションの変更やエクスプレッションペダル、フットスイッチやニーレバーの情報もすべて記録されます。

[2] パート録音をする

アップパー（上鍵盤）、ロワー（下鍵盤）、ペダルなど、それぞれのパートを個別に録音することができます。また、この機能で、キーボードパーカッションや、レジストレーションの変更、エクスプレッションペダル操作といったコントロールデータも個別に記録することができます。

■ パート録音をする

1 まずMDRでの録音の準備をします。
（この操作は、通常録音の場合と同じです。）

1. 演奏に必要なすべてのレジストレーションを、レジストレーションメモリーボタンに設定します。
2. フォーマットされたディスクをMDRに挿入します。
3. MDRのソングナンバーを選択します。
4. RECORD（レコード）ボタンを押します。

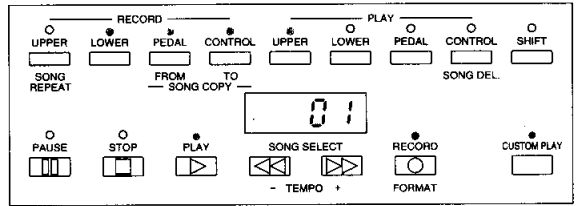
2

録音したいパートを選択します。

この場合、1-4.でRECORDボタンを押すと、RECORD側の各パートが自動的に選択されて、各パートのランプが点灯します。

ここでは、まず下鍵盤とペダルとコントロールを先に録音します。

RECORD側の録音しないパートのボタン(UPPER [アップパー])を押すと、上鍵盤パートのランプが消え、逆にPLAY(プレイ)側の上鍵盤パートのランプが点灯します。



Note: すべてのパートを同時に録音する場合は、左記2の手順は不要です。

RECORDボタンを押した状態では、RECORD側のすべてのパートが自動的に選ばれます。

3

RECORD/UPPER (アップパー：上鍵盤)

点灯の状態、上鍵盤パートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

RECORD/LOWER (ロワー：下鍵盤)

点灯の状態、下鍵盤パートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

RECORD/PEDAL (ペダル)

点灯の状態、ペダルパートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

RECORD/CONTROL (コントロール)

点灯の状態、コントロールデータの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。(コントロールデータについては、前ページの「MDRの概要」をご参照ください。)

このイラストの場合、上鍵盤パートの録音だけをキャンセルしていることとなります。

キーボードパーカッションのパート録音

MDRのパネル上には表示されていませんが、キーボードパーカッションもパートごとの録音/再生ができます。

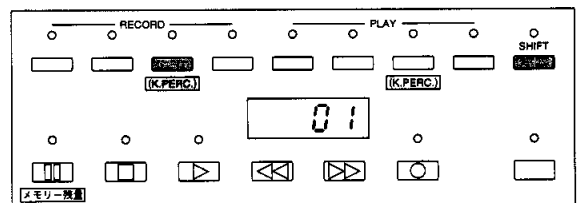
キーボードパーカッションのパート録音をする：

録音待機状態でSHIFT(シフト)ボタンを押しながら、イラストに示されたRECORD側のキーボードパーカッションのパートボタンを押します。

RECORD/K.PERC. (キーボードパーカッション)

点灯の状態、キーボードパーカッションのパートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。(キーボードパーカッションは、リズムと分離して録音/再生ができます。)

パネル表示以外のMDRの機能



Note: このように、キーボードパーカッションも、ほかのパートと別に独立して録音/再生ができます。またパート録音の指定をしない場合は、キーボードパーカッションのパートは、下鍵盤の情報として録音/再生されます。

Note: キーボードパーカッションをパート録音/再生するときは、エレクトーンパネル上のキーボードパーカッションのボタンはオフにして、下鍵盤で演奏してください。オンの状態では「二度鳴り」します。(HXを除く)

3 PLAYボタンを押し、数字表示(メモリー残量表示)がMDRのデジタルディスプレイ上に現れたら、演奏を始めます。

4 (下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏が終了したら、STOP(ストップ)ボタンを押します。

これで(下鍵盤とペダル鍵盤の)パート録音ことができました。つぎに、録音しなかった(上鍵盤の)パートの録音をします。

5 MDRのRECORDボタンを押します。

この場合、すでにこのソングナンバーには(下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏データが入っています。

MDRのデジタルディスプレイには、イラストにあるようにソングナンバーとその左側の小さな2本のバーが表示され点滅を繰り返して、このソングナンバーにすでにデータが入っていることを示します。

6 別のパートを重ねるために、もう一度RECORDボタンを押します。

PLAYとCUSTOM PLAY(カスタムプレイ)のボタンの上のランプが点滅を始め、録音がスタンバイになったことを示します。

7 今度はRECORD側の、前ページ2で録音したパートボタンを押して録音をキャンセルし、PLAY側のパートのランプを点灯させます。

ここでは、2で録音しなかったパート(この場合、UPPER[上鍵盤])だけRECORD側のボタンを選択します。

8 新しいパートを録音するために、CUSTOM PLAYボタンを押します。

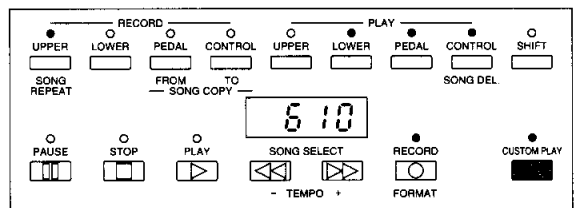
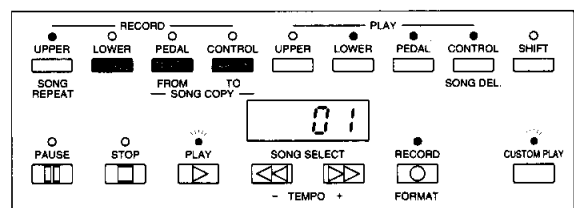
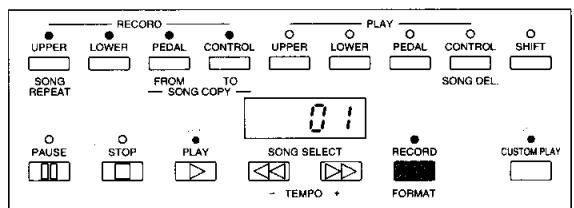
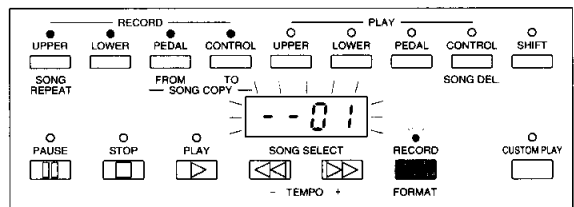
CUSTOM PLAYは、録音したいパートだけを録音したり、再生させたいパートだけを再生させたりする場合に使います。

この場合は、すでにレジストレーションデータは前ページ2のステップで記録されていますので、すぐに録音できる状態になります。

前ページ2で録音したパートの再生が始まりますので、それにあわせて新規のパートの演奏を始めます。

曲の最後まで行くと、MDRは自動的にストップの状態になります。

Note: リードボイスは、パート録音できません。リードボイスは、上鍵盤(または下鍵盤[トゥーローワ])の情報として録音されます。



Note: 重ねて録音するパートの長さは、その前に録音したパートの長さ以上にはなりません。もし、前に録音していた曲の上に別の曲を録音する場合も、前に録音していた曲の長さを超えることはできません。この場合は、あらかじめソングデリート(削除)を行って、前の曲を削除してから録音してください。(ソングデリートについては、18ページをご参照ください。)

3
録音する

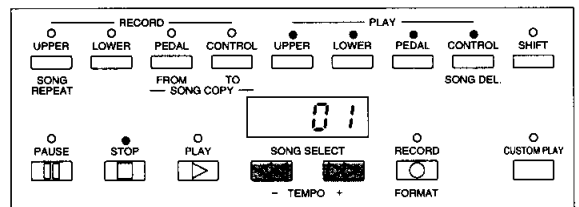
4. レジストレーションなどのデータだけを記録する

演奏データを録音せずに、レジストレーションなどのデータだけを記録することもできます。記録されるデータには、レジストレーションメモリーの設定や、レジストレーションシフトなどが含まれます。

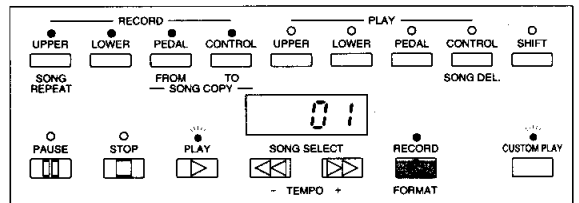
レジストレーションなどのデータだけを記録する

1 エレクトーンで、記録したいレジストレーションデータを設定します。

2 SONG SELECT (ソングセレクト) ボタンを使って、MDR (フロッピーディスク) の記録したいソングナンバーを選択します。

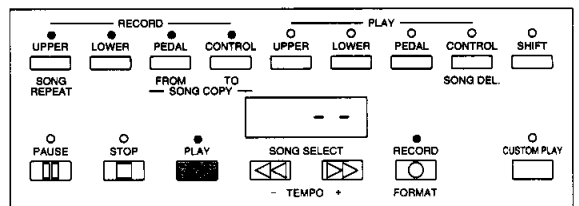


3 RECORD (レコード) ボタンを押して、録音をスタンバイ状態にします。



4 PLAY (プレイ) ボタンを押して、小さなバーがデジタルディスプレイ上を左から右に走るのを確認したら、すぐにSTOP (ストップ) ボタンを押します。

この操作は演奏データを録音するときと同じですが、MDRがレジストレーションなどのデータを読み込んだところで録音を中断させてレジストレーションなどのデータだけを記録するものです。



5. レジストレーションなどのデータを呼び出す

ソングナンバーに記録されたレジストレーションなどのデータは、簡単にエレクトーンに呼び出すことができます。

レジストレーションなどのデータを呼び出す

1 ディスクをMDRのディスク挿入口に入れ、呼び出した
いデータの入っているソングナンバーを選択します。

2 MDRのPLAY(プレイ)ボタンを押します。
これでレジストレーション データがエレクトーンに呼
び出されます。

Note: SHIFT(シフト)ボタンを押しながらCUSTOM
PLAY(カスタムプレイ)ボタンを押すと、リズムパター
ンプログラムとリズムシーケンスとユーザー音色以外
のレジストレーションデータを呼び出して、再生がス
タートします。

レジストレーションだけを呼び出すときに使用すると
便利です。

レジストレーションだけの記録/呼び出しについて

レジストレーションメモリーは、パネル上では5種類が表示されますが、この機能を使うことで、演奏中にパネル設定を変更すること
なく、1曲で5種類以上のレジストレーションを使用する曲にも充分対応することができます。(1枚のディスクで40ソングナンバーが
あり、また、1ソングナンバーにはレジストレーションメモリーの数だけ【5種類】記録できます。)

5種類以上のレジストレーションを使って1つの曲を演奏する場合は：

1 演奏する前に、レジストレーションを順序良くパネル上のレジスト
レーションメモリーボタンに記録して、それをいくつかのソングナン
バーに記録します。

この際、演奏する順序でソングナンバーを整理しておくとう便利です。

2 演奏中に、1つのソングナンバーの中の5レジストレーションを使用し
たら、PLAYボタンを押して、つぎのソングナンバーを選択します。
これで、パネル上のレジストレーションメモリー ボタンにメモリー
されているレジストレーションは、つぎのものに入れ替わります。

順次ソングナンバーをSONG SELECT(ソングセレクト)ボタンで
選択しながら、この操作を繰り返すことで、どんなに長い曲でも簡
単にレジストレーションチェンジができます。

6. レジストレーションだけを入れ替える

演奏データを変えることなく、録音されている曲のレジストレーションのみを変えることもできます。
操作方法は、前述の『4.レジストレーションなどのデータだけを記録する』と同じです。

5

6

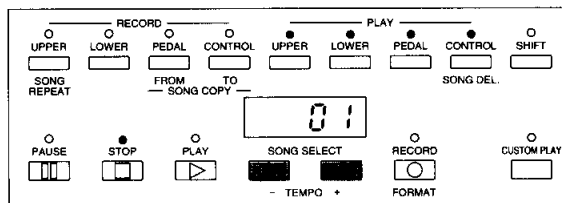
レジストレーションなどのデータを呼び出す
レジストレーションだけを入れ替える

7. 再生する

PLAY(プレイ) ボタンを押すだけで、自動的にレジストレーションなどのデータを読み出し、再生することができます。

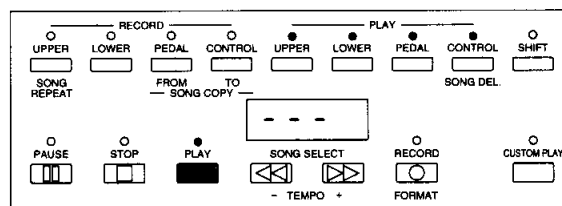
[1] 再生する

- 1 SONG SELECT(ソングセレクト) ボタンを使って、再生させたいソングナンバーを選択します。

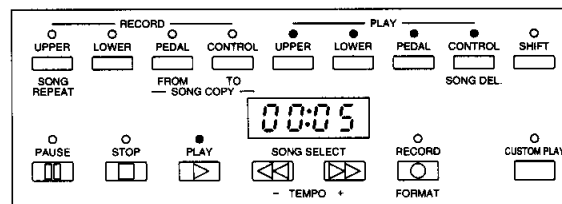


Note: キーボードパーカッションの再生ボタンは、ほかの部分と同じで、再生時には自動的にオンの状態になります。

- 2 PLAY(プレイ) ボタンを押します。
PLAYボタンの上のランプが点灯し、デジタル ディスプレイ上に小さなバーが走り、MDRがその曲のレジストレーションを読み出していることを示します。



- 3 レジストレーションデータの読み出しが終了すると、再生が自動的に始まります。
デジタル ディスプレイ上には、時間の経過を表す数字が表示されます。
曲の最後まで行くと自動的にストップしますが、STOP(ストップ) ボタンを使って曲の途中で再生を中止することもできます。



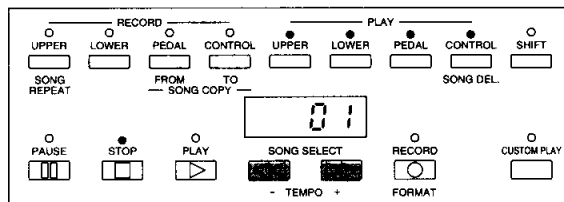
Note: フロッピーディスクをMDRに入れたままで電源を切らないで下さい。また、録音/再生中にも電源を切らないで下さい。

[2] パート再生する

MDRでは、演奏データの特定のパートだけを再生することもできます。メロディラインの練習など、特定の練習をする場合などに便利です。

■パート再生する

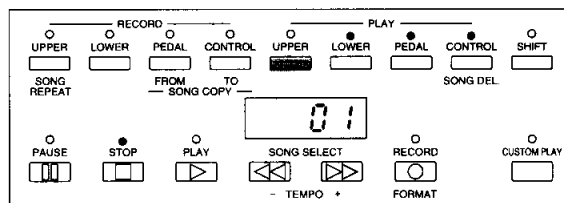
1 まず、再生したいソングナンバーをSONG SELECT (ソングセレクト) ボタンで選択します。



2 PLAY (プレイ) 側の消したいパートのボタンを押して、そのパートのランプをオフにします。

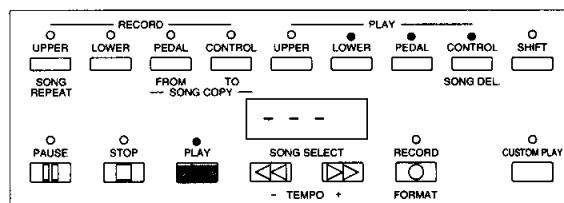
(この場合UPPER [上鍵盤] 以外のパートを再生する。)

再生させたいパートのランプが点灯していることを確認します。



3 PLAYボタンを押します。

MDRがレジストレーションなどのデータを読み出したところで、再生が始まります。



4 再生されているパートにあわせて演奏します。

曲の最後まできたら、MDRは自動的にストップの状態に戻ります。

7

再生する

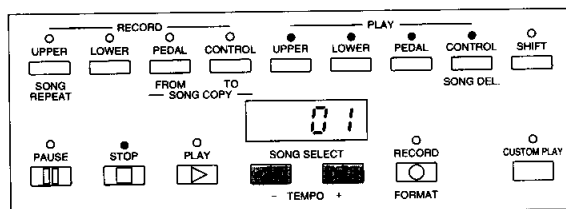
[3] リピート再生する

この機能を使って、特定の曲だけを繰り返し再生したり、ディスクに録音されている全部の曲を繰り返し再生することができます。

■リピート再生する

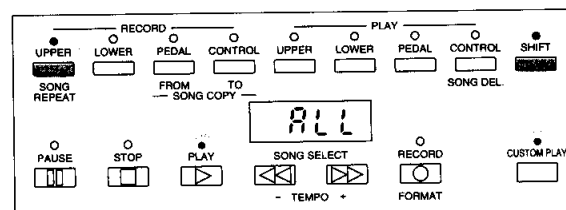
1 **SONG SELECT** (ソングセレクト) ボタンを使って、再生したいソングナンバーを選択します。

ディスクの全曲をリピート再生したい場合には、再生したい最初の曲を選択します。



2 **SHIFT** (シフト) ボタンを押しながら、**SONG REPEAT** (ソングリピート) ボタンを押します。

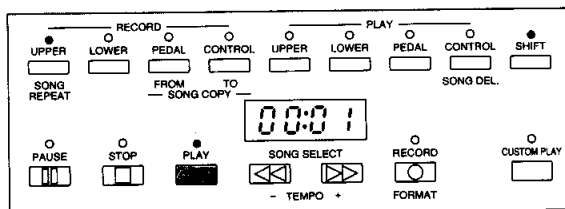
MDRのデジタルディスプレイ上には、「ALL」(オール:全曲)の表示が現れます。



選択した曲から全曲リピート再生したい場合:

3 **PLAY** (プレイ) ボタンを押します。

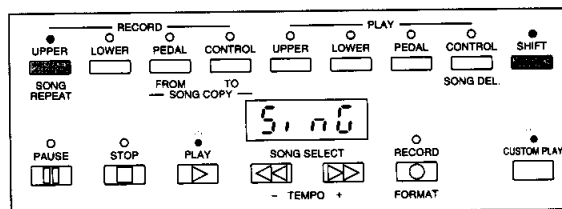
これで、全曲のリピート再生がスタートします。



特定の曲1曲だけをリピート再生したい場合:

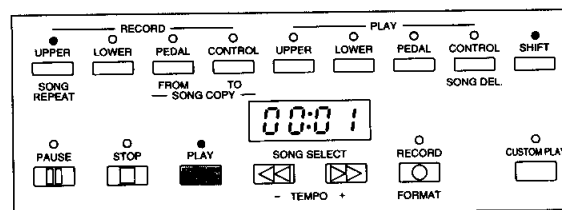
3 1. もう一度、**SHIFT** ボタンを押しながら、**SONG REPEAT** ボタンを押します。

MDRのデジタルディスプレイが、「SinG」(SINGLE:シングル[1曲])の表示に変わり、1曲だけの繰り返しを選んだことを示します。



2. **PLAY** ボタンを押します。

これで、1曲だけのリピート再生がスタートします。



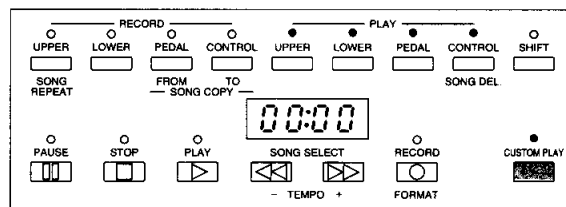
リピート再生をストップするには、**STOP** (ストップ) ボタンを押してください。

8. その他の機能

[1] カスタムプレイ

レジストレーションやほかのデータ呼び出さずに再生したい場合には、PLAY (プレイ) ボタンの代わりにCUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ボタンを押してください。

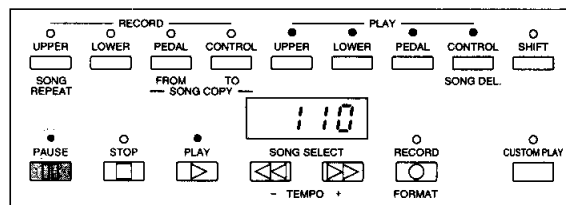
すぐに再生がスタートします。



[2] ポーズ (一時停止)

再生中にとりあえず曲を中断したい場合には、PAUSE (ポーズ) ボタンを押すと、曲が一時停止します。

一時停止したところから再生を始めたい場合には、PAUSE ボタンをもう一度押してください。



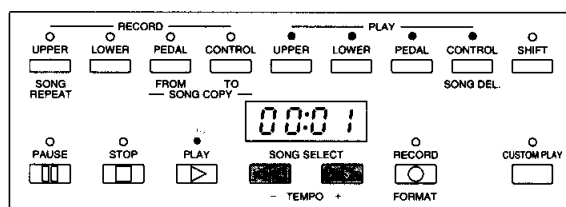
[3] 早送り／巻戻し

再生中に、テープレコーダーのように、早送りと巻戻しができます。

再生中にはMDRパネル上の▶▶ が早送りで、◀◀ が巻戻しになります。

このボタンを押すと再生は中断され、デジタルディスプレイの数字表示も早送り／巻戻しに従って変化します。

ボタンを押さえるのをやめても、再生は中断されたままです。中断したところから再生を再開する場合には、PLAY (プレイ) ボタンを押してください。



Note: 早送り／巻戻しのスピードは、再生スピードの5倍の速さです。

[4] 再生テンポの変更

MDRで曲を再生するときに、曲のテンポを変えることができます。

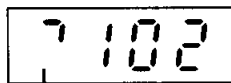
■テンポを変える

SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、**TEMPO** (テンポ) + または **TEMPO** (テンポ) - を押します。

一回押すごとに少しずつ変化していきますが、ピッチが変わるわけではありません。

TEMPO+ を押すとテンポが速くなり、**TEMPO-** を押すとテンポが遅くなります。

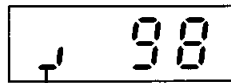
(エレクトーンパネル上のリズムセクションのテンポダイヤルでは、再生テンポの速さはコントロールできません。)



テンポを速くした場合

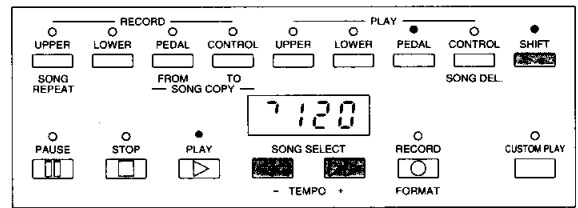


オリジナルテンポ

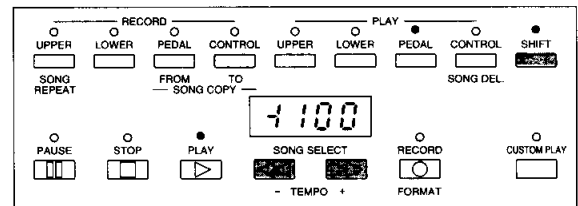


テンポを遅くした場合

もと(オリジナル)のテンポに戻るには、**SHIFT** ボタンを押しながら、+と-両方の**TEMPO** ボタンを同時に押してください。



Note: テンポが変わったら、その変化の程度がMDRのデジタルディスプレイにパーセントで表示されます。オリジナルのテンポは100(パーセント)で表示され、100より大きい数値の場合はテンポが速くなったことを、100より小さな数値の場合はテンポが遅くなったことを表します。



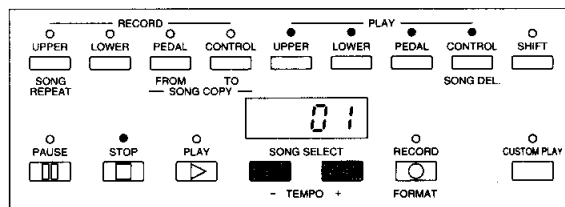
Note: 一つのソングでテンポの変更をした場合、ほかのソングナンバーの曲も変更したテンポになります。テンポを変えた場合は、ほかのソングに移る前に必ずテンポの設定をもとの位置に戻してください。MDRの電源を切ることによって、もとの状態に戻ります。

[5] ソングコピー

一つのソングナンバーのデータを、別のソングナンバーにコピーする機能です。

■ソングコピーをする

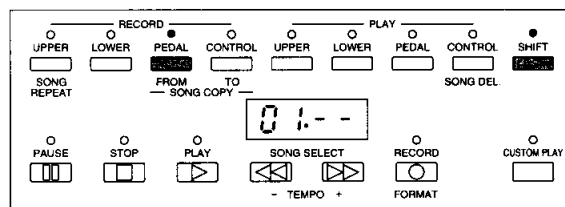
1 コピーしたいソングナンバーを、**SONG SELECT** (ソングセレクト) ボタンで選択します。



Note: 選択したソングナンバーにデータが入っていない場合には、MDRは自動的につぎのデータが入っているソングナンバーを選び出し表示します。

2 **SHIFT** (シフト) ボタンを押しながら、**SONG COPY:FROM** (ソングコピー:フロム) ボタンを押します。

コピーしたいソングナンバーが、デジタルディスプレイの左側に表示されます。



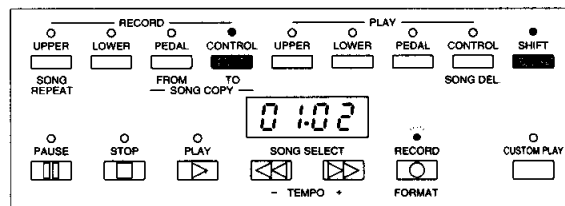
3 つぎに、コピー先のソングナンバーを指定するために、**SHIFT** ボタンを押しながら、**SONG COPY:TO** (ソングコピー:トゥー) ボタンを押します。

MDRは、自動的にコピー先のソングナンバー (未使用のソングナンバー) を探し出し、そのナンバーをデジタルディスプレイの右側に表示します。

RECORD (レコード) ボタンの上のランプが点滅を始め、ソングコピーがスタンバイの状態になったことを示します。

もし、すべてのソングナンバーがすでに使用されている場合は、デジタルディスプレイに"FULL" (フル) と表示されます。この場合には、コピーを中止するか、ソングデリート機能で不要なソングナンバーのデータを削除してから、もう一度実行してください。

(ソングデリート機能については、次ページをご参照ください。)



Note: コピーを中止したい場合は、STOP (ストップ) ボタンを押してください。

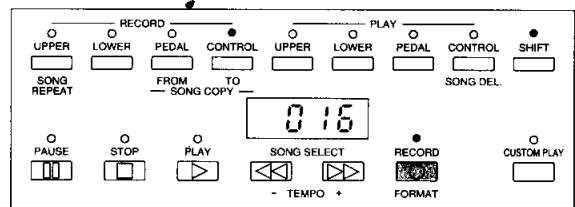
4 表示されたナンバーではなく、別のソングナンバーにコピーしたい場合は、コピー先のソングナンバーを**SONG SELECT** ボタンで選択します。

この場合、MDRではデータの入っていないソングナンバーしか選択できません。

5 コピー先の指定が終わったら、RECORDボタンを押してソングコピーを行ないます。

RECORDボタンの上のランプが点滅から点灯状態に変わり、ソングコピーが開始されたことを表します。

このとき、デジタルディスプレイ上にコピーする曲(データ)のサイズが数値で表示され、コピーが進むにつれて数値が減少していき、最後に"000"になってコピーが終了します。



[6] ソングデリート

一つのソングナンバーに入っている曲(データ)をデリート(削除)する機能です。

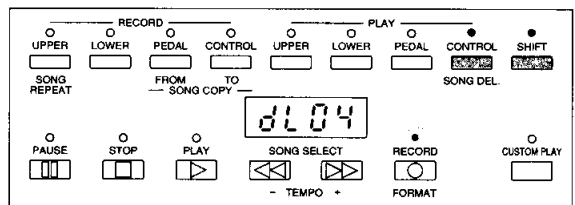
■ソングデリートをする

1 デリートしたいソングナンバーを、**SONG SELECT** (ソングセレクト) ボタンで選択します。

2 **SHIFT** (シフト) ボタンを押しながら、**SONG DEL.** (**SONG DELETE**:ソングデリート) ボタンを押します。

デジタルディスプレイのソングナンバー表示の左側に "dL" (DELETE:デリート) が表示され、RECORD (レコード) ボタンの上のランプが点滅を始め、デリートがスタンバイの状態になったことを表します。

もし、この時点でデリートしたいソングナンバーを変更したい場合は、SONG SELECT ボタンを使って変更することができます。



Note: デリートを中止したい場合は、STOPボタンを押してください。

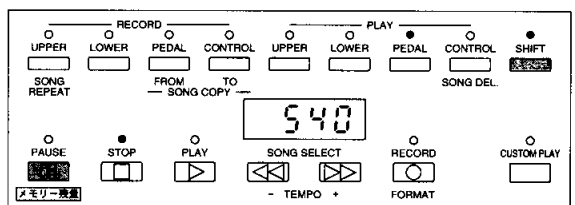
3 RECORDボタンを押して、デリートを行ないます。RECORDボタンが点滅から点灯の状態に変わり、ソングデリートが開始されたことを表します。

[7] メモリー残量の確認

メモリー残量の確認をしたい場合には、**SHIFT** (シフト) ボタンを押しながら、**PAUSE** (ポーズ) ボタンを押します。

デジタルディスプレイ上にメモリーの残量が数字で表示されます。

メモリー容量は、2DDディスクで約620、2HDディスクで約1240です。



[8] コピープロテクト

エレクトーン用のディスクには、コピー防止や誤消去防止のために、コピープロテクトがかかっているものがあります。ほかのディスクに、このディスクのデータをセーブすることはできません。

コピープロテクトされたディスクをMDRに挿入すると、デジタルディスプレイに"Pr##"という表示が現れます。

デジタル ディスプレイ上のメッセージ

LED画面	メッセージの意味
Insert	ディスクが挿入されていないので、ディスクを挿入してください。
Format	ディスクがフォーマットされていないので、フォーマットしてください。
--01	該当するソングナンバーにデータが入っています。
re01	もう一度録音を始めてください。(リトライ)
del01	該当するソングナンバーを削除することができます。(ソングデリート)
Protect	(1)挿入したディスクのライトプロテクトタブが、オンの状態になっています。ライトプロテクトタブを、オンにしてください。 (2)コピープロテクトされた再生専用ディスクを使っている場合に、MIDIケーブルの接続が不完全なときや、録音、ソングコピー、ソングデリートをしようとしたとき、または、他のディスクへコピーしようとしたときに表示されます。作業を中止してください。
Pr01	コピープロテクトされたディスクであることを表します。
FULL	(1)メモリー残量が無いので、録音やコピーができません。別のディスクを使用するか、不要なソングデータを削除してください。 (2)すべてのソングナンバーに、データが入っています。(1)と同様に対処してください。
empty	すべてのソングナンバーにデータが入っていないので、ソングコピーができません。STOPボタンを押して、操作を中止してください。
-out	録音/再生中にフロッピーディスクを取り出したため、エラーが発生しました。STOPボタンを押して操作を中断し、ディスクを入れなおしてから、初めから操作してください。
disc	異なったディスクが挿入されました。正しいディスクを入れなおしてください。
lots	一度に余りに多くのデータを受けたため、録音できませんでした。STOPボタンを押してから、もう一度録音してください。
bad	ディスク不良のため、フォーマットできません。別のディスクを使用してください。
Error	データの受信/通信中にエラーが発生しました。STOPボタンを押して、もう一度初めから操作してください。
db01	該当するソングナンバーに2種類のレジストレーションが録音されています。再生するには、もう一度PLAY(プレイ)ボタンを押してください。
0000	互換性の無いディスクが挿入されたことを表します。正しいディスクを入れ直してください。または、MIDIが正しく接続されているか確認してください。

こんなときは……(故障だとお考えになる前に)

以下のような現象は故障ではありません。

MDRの症状とよく比較いただいて、ご理解を深めていただきますようお願いします。

現象	原因と対処
録音／再生ができない。	鍵盤ごとのレコード／プレイの選択ボタンがオフになっています。録音／再生したいパートのボタンを押してオンにしてください。
40ソングまでデータの録音／記録ができない。	ひとつのソングに記録したデータの量が多い場合、メモリー残量が足りなくなることがあります。メモリー残量を確認してください。
演奏が終る前に録音がストップしてしまった。	(1)メモリー残量が足りない場合：別のディスクを使用してください。 (2)すでに録音してあるソングナンバーに録音する場合：録音する曲の長さが前の曲の長さを越えています。前の曲をデリートしてから、録音しなおしてください。
録音開始時にリズムがスタートしなかったり、スタートさせたリズムがストップしてしまう。	録音開始時にリズムがスタートしている場合は、リズムを一旦ストップさせる仕様になっています。リズムを使用する場合は、デジタルディスプレイの表示が- -からメモリー残量表示に切り替わった後でスタートさせてください。
再生されていたエレクトーンの音が鳴りっぱなしになった。	イジェクトボタンを押してディスクを取り出したためです。ストップボタンを押して再生をストップしてから、ディスクを取り出して、電源を切るようにしてください。

MDR-4仕様

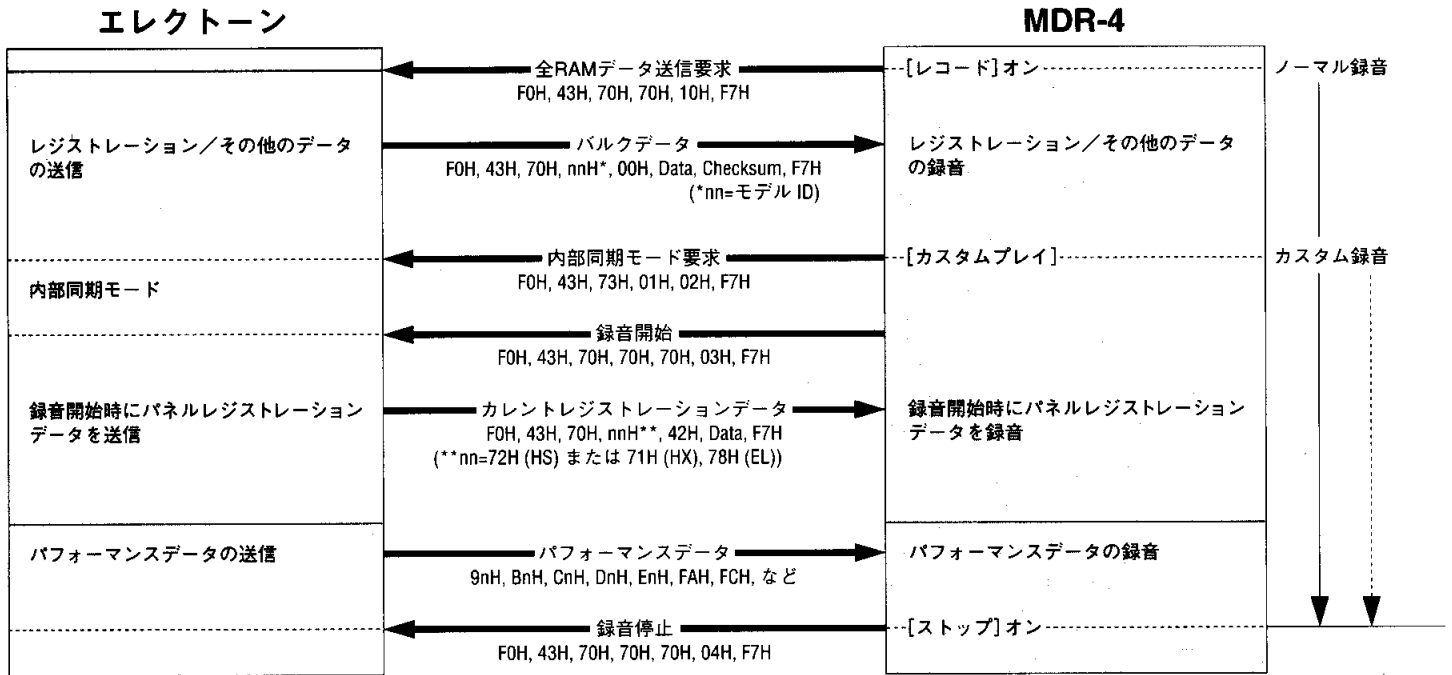
型式：	ミュージック ディスク レコーダー
記録媒体：	3.5インチ マイクロ フロッピー ディスク (2DD/2HD)
ディスクフォーマット：	MS-DOS
メモリー容量：	620 (2DD)/1240 (2HD) キロバイト、最大40曲
コントロール：	レコード／フォーマット、ソングセレクト／早送り(▶▶)／テンポ+、ソングセレクト／巻戻し(◀◀)／テンポ-、プレイ、ストップ、ポーズ、カスタムプレイ、レコード・アッパー／ソングリピート、レコード・ローワ、レコード・ペダル／ソングコピーフロム、レコード・コントロール／ソングコピートゥー、プレイ・アッパー、プレイ・ローワ、プレイ・ペダル、プレイ・コントロール／ソングデリート、シフト
ディスプレイ：	4桁 7セグメントLED
その他：	パワースイッチ、ディスクドライブ、イジェクトボタン
入出力端子：	MIDI IN、MIDI OUT、MIDI THRU、DC IN
定格入力電圧：	DC 10V
定格入力電流：	MIN 700mA ~ 1A
定格消費電力：	9.5W
寸法：	135 (W) x 200 (D) x 63.5 (H) mm
重量：	1.3kg
付属品：	3.5インチ フロッピー ディスク (未フォーマット) 2DD x 1、MIDI接続ケーブル (25cm) x 2、BRT-3ブラケット (取り付け金具)、PA-3L電源アダプター

[参考]

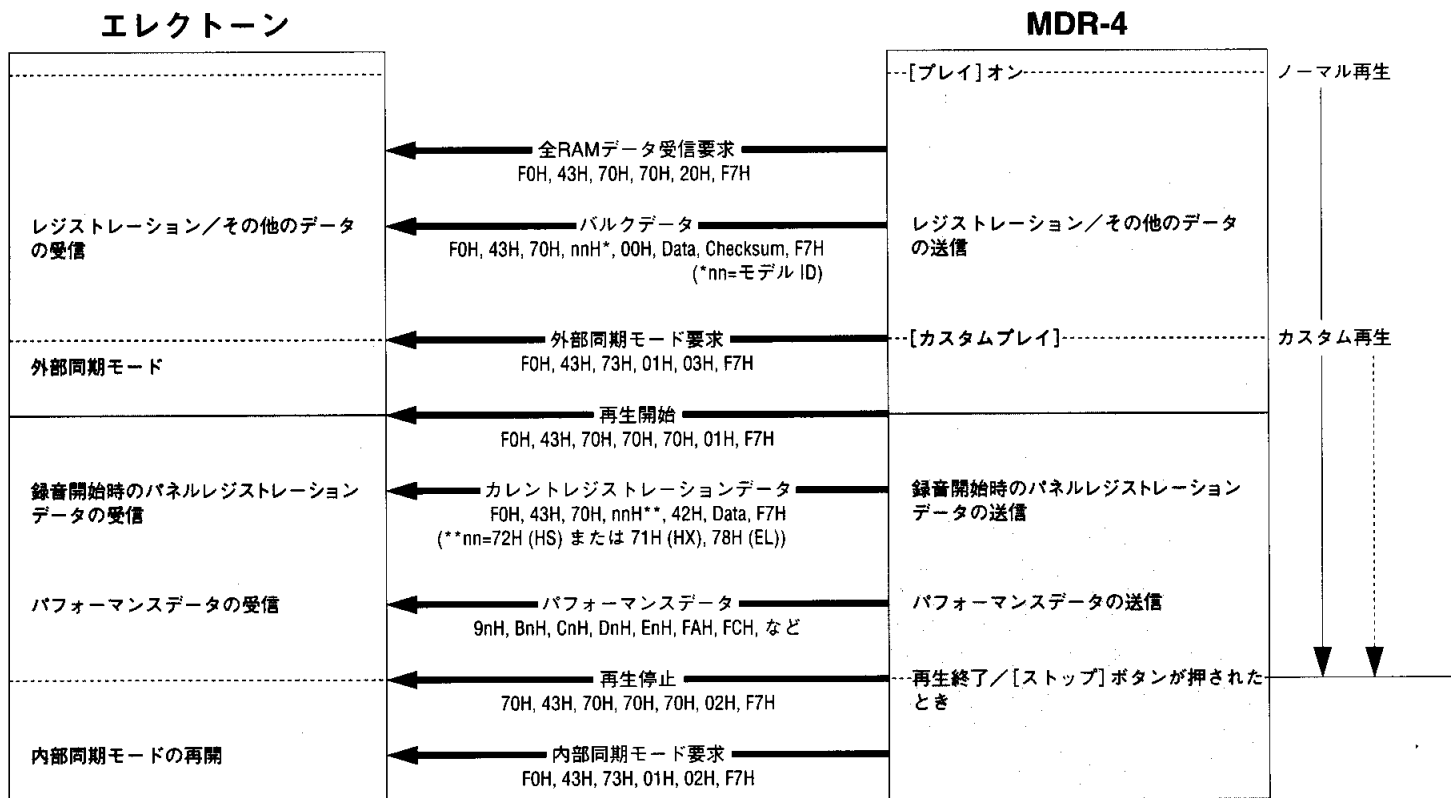
レジストレーション ファイル	MDR_nn.ROO MDR_nn.BOO
イベントファイル	MDR_nn.EVT *nn=00~39 (ソングナンバー01~40)

録音／再生中のMIDIデータの流れ

録音中



再生中



*MDR-4からのバルクデータの送信(またはエレクトーン側の受信)が失敗した場合、エレクトーンはアンアクノリッジ (NAK) 信号 (F0H, 43H, 70H, 70H, 38H, 00H, F7H) をMDR-4に送ります。
 NAKを受信したMDR-4は再度バルクデータを送信します。
 バルクデータの再度の送信も失敗に終わった場合、その時点でバルクデータの送信は中断(終了)します。

ミュージック ディスク レコーダーMDR-4 MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 10/16, 1992
Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシックチャンネル 電源ON時 設定可能	全チャンネル ×	全チャンネル ×	ベーシックチャンネルなし
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード1 *****	モード1 *****	
ノートナンバー 音域	0-127 *****	0-127	
ベロシティ ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=0-127 ○ 8nH, v=0-127	○ 9nH, v=0-127 ○ 8nH, v=0-127	
アフタータッチ キー別 チャンネル別	○ ○	○ ○	
ピッチベンド	○	○	
コントロールチェンジ 0-63 64-127	○ ○	○ ○	
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○ *****	○	
エクスクルーシブ	○	○	
コモン ソングポジション ソングセレクト チューン	○ ○ ○	○ ○ ○	
リアルタイム クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他 ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	○ ○ ○ ○	○ ○ × ×	
備考			

モード1:オムニ・オン、ポリ
モード3:オムニ・オフ、ポリ

モード2:オムニ・オン、モノ
モード4:オムニ・オフ、モノ

○:あり
×:なし

サービスと保証

保証

保証期間は、保証書の裏面の記載により、ご購入から満1年です。ただし、現金、ローン、月賦などによる区別はいたしません。また、保証は日本国内でのみ有効です。

保証書

保証書をお受取りの際は、お客様のお名前、ご住所、お買い上げ年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になることもありますのでご注意ください。

保証書は大切にしましょう！

保証書は、弊社がご購入いただきましたお客様に、ご購入の日から向こう1年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失されますと、保証期間中であっても実費をいただくことがございます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように、たいせつに保管していただきますようお願いいたします。また、保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。後々のサービスに際して、サービス依頼店の確認など、便利にご利用いただけます。

保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合は、販売店にご連絡いただきますと、技術者が直ちに修理・調整致します。
2. 修理・調整の際は、必ず保証書をご提示ください。保証書がない場合にはサービス料金をいただくこともございます。
3. 遠方に転居される場合は、事前に販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。転居先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますとともに、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

保証期間後のサービス

満1年の保証期間が切れますと、サービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品(製品本来の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、8年となっております。保証期間以後の転居の場合も、保証期間中と同様にご連絡いただきましたら転居後のサービス担当店をご紹介します。

サービスのご依頼

1. 電源が入らない場合は、コンセントに電気が来ているかどうか、電気製品を接続してお確かめください。
2. 電話でのご依頼の際、再度、故障かどうかを確認させていただく場合がありますので、ぜひご協力をお願いいたします。
3. できれば実際に楽器をお弾きになっていらっしゃる方からお話をうかがえば、あらかじめ用意する部品などの見当が付き、スムーズにいきます。
4. 時々調子のおかしくなるような場合は、お手数でもその状態をできるだけ詳しくお知らせください。たとえば、●夜間だけ音が小さい●ある時間だけ雑音ができる●電源を入れるだけで雑音ができる、などの場合です。
5. 機種名など、サービスご依頼の機器に関する詳細は、保証書をご覧になってお知らせください。使用部品が製造時期やモデルによって異なることもありますので、早く確実にサービスさせていただきますために、ぜひお願いいたします。
6. これだけはお知らせください。
ご住所・お名前・ご連絡先・ご購入店・お買い上げ年月日・機種名(モデル名)・・・保証書に記載されています。症状・・・なるべく具体的に。

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点(修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道サービスセンター 〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内
TEL.011-513-5036
仙台サービスセンター 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL.022-236-0249
新潟サービスセンター 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F
TEL.025-243-4321
東京サービスセンター 〒101 千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
TEL.03-3255-2241
首都圏サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL.044-434-3100
浜松サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ楽器竹工場内
TEL.053-465-6711
名古屋サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ楽器名古屋流通センター3F
TEL.052-652-2230
大阪サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋1-16 ヤマハ楽器千里丘センター内
TEL.06-877-5262
四国サービスセンター 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ楽器高松店内
TEL.0878-22-3045
広島サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL.082-874-3787
九州サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092-472-2134
【本社】カスタマーサービス部 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ楽器竹工場内
TEL.053-465-1158

ヤマハ株式会社

北海道支店	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター
営業推進課	TEL.011(512)1550
仙台支店	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
営業推進課	TEL.022(222)6149
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 ハールビル
鍵盤推進課	TEL.03(3572)3140
関東支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 ハールビル
営業推進課	TEL.03(3572)3120
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28
鍵盤推進課	TEL.052(201)5140
大阪支店	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋ソラサヒル東館
鍵盤推進課	TEL.06(252)7541
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
営業推進課	TEL.082(244)3748
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
鍵盤推進課	TEL.092(472)2152
鍵盤営業本部	〒430 浜松市中沢町10-1
電子楽器営業部	TEL.053(460)2191
エレクトーン営業課	

* 住所および電話番号は変更になる場合があります
